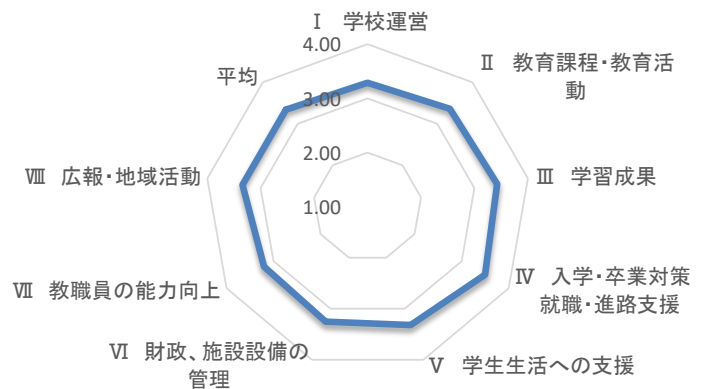


## 令和7年度 学校運営評価結果

区分	R7最終
I 学校運営	3.29
II 教育課程・教育活動	3.36
III 学習成果	3.42
IV 入学・卒業対策、就職・進路支援	3.50
V 学生生活への支援	3.32
VI 財政、施設設備の管理	3.25
VII 教職員の能力向上	3.20
VIII 広報・地域活動	3.34
平均	3.34



### 評価尺度

十分に満たしている	4
満たしている	3
改善の余地がある	2
改善が必要	1

○令和7年度の学校運営最終評価の全体平均は約3.34ポイントで、全区分とも3（満たしている）以上。令和6年度の3.44、令和5年度の3.50ポイントより下がった。

○8区分中最も評価が高かったのは「IV入学・卒業対策、就職・進路支援」の3.50ポイント、低かったのは「VII教職員の能力向上」の3.20ポイント

○令和6年度と比較して、評価ポイントの低下が大きいのは「VII教職員の能力向上」の▲0.26ポイント、「VI財政、施設設備の管理」の▲0.18ポイントであった。VIIに関しては、小項目「教員の能力向上に対する取組を支援する環境があるか。」が3.10ポイントとなっている。意見として「研修の機会はあるが、その日程を捻出することに課題がある」とあり、人手不足が解消されないことの影響がでている。

○小項目では「組織全体でチーム力を発揮した取組を行っているか。」も3.10であり、情報共有の不足が挙げられている。

◎上記から次年度の課題として3点をあげる

- 1 老朽化対策に伴う学校移転
- 2 教員の能力向上に資する学会等参加の促進
- 3 チーム力向上を目指した情報伝達/共有体制の整備